

アル・アクサ洪水第775日目：、イスラエルがガザ攻撃を継続する中、 国連安保理が米国が支持する決議を採択

Palestine Chronicle、2025年11月17日、協浜義明訳 *脚注は訳注



氷点下の気温と大雨は、ガザ地区全域で避難した数十万人のパレスチナ人のすでに悲惨な生活状況を悪化させている。(Photo: via QNN)

主要事項

- * 今日もイスラエル軍はガザ回廊各地で軍事行動を展開し、各地は空からの空爆、地上からの砲撃で破壊された。
- * パレスチナ抵抗勢力各派は米国提案の安保理修正決議案を認めないと警告した。
- * ガザのパレスチナ保健省によれば、2023年10月7日からのイスラエル軍攻撃の犠牲者数は、死者69,483人、負傷者170,706人で、その多くは女性と子どもである。

最新情報

11月18日 12:57am

* 大統領声明：トランプ米大統領は、米国が起草した国際「ガザ和平評議会」設立決議案を「歴史的な」採決で承認したことについて「世界」を祝福すると声明を出した。大統領は自分がその評議会の議長を務めると述べた。

* ハマス声明：ハマスは、国連安保理の決定は、パレスチナ人、特にガザのパレスチナ人の政治的・人道的権利に反するものだと宣言した。これは、ガザに国際的信託統治機構を押し付けるもので、イスラエルが武力で達成できなかった目標を米国と国連が代わって達成するものであると言った。

* チャンネル15：イスラエル政府は国際刑事裁判所のカリム・カーン検察官の解任と、ネタニヤフ首相とガラント前国防相への逮捕状の撤回または凍結を求める要請を出していた。すでに国際刑事裁判所はイスラエルの要請を却下している。

11月18日 12:51am

*パレスチナ・クロニクル：月曜日、国連安保理は米国提案のガザ国際統治計画を承認した。ハマスや抵抗勢力は直ちにこの枠組みを拒否した¹。

11月17日 8:00am

*パレスチナ・クロニクル：電子インティファダ（EI）によれば、スイス議会の調査の結果、パレスチナ系米国人ジャーナリストのアリ・アブニーマ²が拘束され国外追放された事件は、不正な政治的介入事件、即ちイスラエルと金銭的繋がりがあるスイス高官による不正な介入の結果であることを明らかにした。

*チャンネル12：治安関係高官は、イスラエルは占領地西岸地区の騒乱に関し、「完全に統制力を失う寸前」だと述べた。

*イスラエル・メディア：ベザレル・スモトリッチ財務相は、現在ラファのトンネル内に封じ込められているパレスチナ人戦闘員の殺害を主張し、パレスチナ国家樹立の阻止が自分の使命であるという従来の主張を繰り返した。

*パレスチナ・メディア：バプティスト病院の報告によれば、ガザ市のアッダラジ地区の避難民の避難場所となっている学校付近へのイスラエルのドローン攻撃で、数人のパレスチナ人が負傷した。

*アナドル通信：トルコのエルドアン大統領は、ガザ停戦の維持は必要で、イスラエルの挑発行為にもかかわらず、ハマスは停戦合意を遵守していると述べた。また、占領が続き、パレスチナ人の土地が奪われたままでは、地域の安定は不可能だと言った。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍はガザ市東のアットゥファーフ地区を砲撃した。

11月17日 6:41pm

*パレスチナ・クロニクル：世界で最も有名な弁護団体であるオックスフォード連合協会は、イスラエルをイランよりも「地域安定によって大きい脅威」と宣言する動議を「圧倒的多数」で決定した。

*アル・ジャジーラ：エルサレムと聖地を守るイスラム・キリスト教委員会の委員であるマヌエル・ムサラム神父は、国際代表団や「和平構想」はガザを弱体化し、ガザの粘り強い姿勢を損なおうとしていると述べた。さらに、抵抗勢力から武器を奪うことはできないと述べ、武力でなく責任遂行と正義が将来の安全保障であるべきだと主張した。神父は、米国のイスラエル支援は戦争犯罪とジェノサイドへの共謀だと言って、抵抗勢力はイスラエルを国際裁判、孤立、軍事的敗北へと追い詰めるであろうと述べた。

*イスラエル・メディア：イスラエルのベエル・シェヴァ市のシモン・トゥブル副市長は、イスラエルは「毎日ガザに入って住民の10万〜15万人を殺害すべきだった」と述べ、中途半端な攻撃は「ガザを完全消滅する」機会を逃したと批判した。

*パレスチナ囚人メディア・オフィス：67回も終身刑を受けて服役中のアブドゥラ・バルグーチ³がギルボア刑務所で激しい肉体的・精神的拷問を受けていると発表した。犬を連れた看守に繰り返し殴打され、深い傷、骨折しているが、治療もされない。これは「緩慢な処刑」だとメディア・オフィスは言っている。

*チャンネル12：イスラエル人捕虜の遺体の引き渡し報道は誤りであり、昨日ザイトゥーン地区で発見されたのは所持品だけで、それが赤十字を通じて検査のためにイスラエルに渡されただけだと、イスラエル高官が言った。

*チャンネル12：イタマル・ベン・グヴィル国家安全保障大臣はネタニヤフ首相に、PAのアッバース大統領の逮捕を要求し、「アッバースを逮捕すれば、あとは私がやる」と言った。

11月17日 3:54pm

*パレスチナ・クロニクル：ガザ・ジェノサイドの2周年を迎えた10月、西岸地区における入植者暴力は過去最高のレベルに達した。米国や西側諸国が許す限り、暴力はますますエスカレートするであろう。[ダン・スタインボックの小論](#)を読みたい。

11月17日 3:49pm

¹ ロシアと中国は棄権し、賛成13票で成立。決議はトランプ政権の20項目条項と国際ガザ安定部隊（ISF）派遣も正式に添付されている。これまでの歴史でも、肝心な点でロシア（旧ソ連）と中国はパレスチナを見捨てた。

² 電子インティファダの編集長。

³ 西岸地区のハマスのイZZ・アッディーン・アル・カッサム旅団の指揮官。マルワン・バルグーチの親族。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、イッツ・アッディーン・アル・カッサム旅団は、イスラエル軍の爆撃で死亡したイスラエル人捕虜の遺体をガザ市で赤十字に引き渡したと報じた。

*声明：ナセル・サラーフ・アッディーン旅団は、野戦指揮官ワシーム・アブドゥル・バシット・アブ・ドゥル・ハディの死を悼んだ。指揮官はガザ回廊中部でイスラエル軍特殊部隊が行った殺害作戦で死亡した。

*チャンネル12：イスラエル裁判所は、スデ・ステイマン軍刑務所でパレスチナ人囚人を拷問した兵士に課していた渡航禁止措置を解除した。

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍は西岸地区ラマッラー東の町カフル・マリクを襲撃した。

11月17日 1:48pm

*パレスチナ・クロニクル：ハマスは、米国提案の安保理決議案はガザをイスラエル占領から外国の信託統治に変えるもので、パレスチナ主権を無視するものと主張している。イスラエルは安保理採決のどたん場で修正を求めている。

*パレスチナ・メディア：ナセル総合病院の報告によれば、ハーン・ユーニス東方のバニ・スハイラの「イエローライン」後方で、イスラエル軍の砲撃で、パレスチナ人男性とその娘が負傷した。

*WFP：世界食糧計画 (WFP)は、2年間の戦争が終わっても、ガザ回廊の世帯は食料の緊急援助が必要な状態である。

*ガザ保健省：イスラエルからパレスチナ囚人の遺体として返却された遺体は身元確認ができないほど損傷していたため、そのまま埋葬する。

11月17日 12:48pm

*パレスチナ・クロニクル：今日もイスラエル軍は、ガザの「イエローライン」背後で空爆と破壊活動を続けた。攻撃のほかに、厳しい冬気象条件と援助物資搬入制限で、ガザ回廊の人道危機がますます悪化している。

11月17日 10:21am

*パレスチナ・メディア：バプティスト病院の報告によれば、ガザ市東方のアッシェジャイヤ地区の「イエローライン」の内側へのイスラエル軍のドローン攻撃で、多数のパレスチナ人が負傷した。

*アル・ジャジーラ：救急隊によれば、ガザ回廊北西部のベイト・ラヒヤの「イエローライン」内で、イスラエルのドローン攻撃でパレスチナ人1人が死亡した。

*パレスチナ・メディア：地元メディアの報告では、イスラエルはまたもや停戦を破って、ガザ回廊中部のアル・ブレイジ難民キャンプの東部を砲撃した。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、ハーン・ユーニス東の「イエローライン」後方をイスラエル軍が空爆、砲撃、重戦車射撃による攻撃を3回行ったと報じた。

*パレスチナ・メディア：地元情報によると、イスラエル軍は西岸地区トゥルカレムの東の町アナブタを襲った。

*アル・ジャジーラ：ベルギー首都ブリュッセル中心部に数千人が集会を開き、停戦を無視してイスラエルが攻撃を続けていることを非難し、イスラエルへの完全な武器禁輸と EU-イスラエルの協定の停止を求めた。

*パレスチナ・メディア：昨夜一晩中イスラエル軍はハーン・ユーニス東部を空爆した。

11月16日 11:57pm

*パレスチナ・クロニクル：イスラエル紙ハアレツの調査報道によると、ガザからパレスチナ人を外国へ移動させる問題の多い航空便が、イスラエル国防省と関係する未登録の組織が手配していることが判明した。この組織は、現在詐欺と人身売買の容疑で捜査されている。

11月16日 11:56pm

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍はガザ市南東のアッザイトゥーン地区東部を砲撃した。

*レバノン保健省：南レバノンの町アル・マンスーリで、イスラエル軍が自動車を空爆し、レバノン人1人が死亡した。

*アル・ジャジーラ：アル・ジャジーラ特派員は、ガザ市東の「イエローライン」の後方で、イスラエル軍が空爆、砲撃、戦車による猛烈な射撃などの攻撃があったと報じた。

*パレスチナ・メディア：イスラエル軍機がガザ市東のアッシェジャイヤ地区の東方郊外を空爆した。同時に、地上では砲撃と装甲車による銃撃もあった。

*パレスチナ各派の共同声明：パレスチナ各派と各政治勢力が共同声明を発した。その内容は「国連安保理における米国提出決議案は、ガザに外国による信託統治を押し付ける危険な試みである。ガザに国際部隊を配置するなら、国連の指導と監督に基づき、パレスチナの公的機関と連携して活動しなければならない。その役割は、民間人の保護、人道支援の円滑な動きの確保、武装部隊の分離に限定されるべきである。外国軍のガザ駐留や基地建設はパレスチナの主権侵害になる。ガザ統治に関するアラブ・イスラム・モデルが最も受け入れやすい枠組みである。我々は、ガザの武装解除やパレスチナ人の抵抗権を否定する条件を一切拒否する。武器に関する議論は、占領終結を保証する政治過程と結びつくパレスチナ人内部の問題である。米国決議案は、パレスチナの意思決定と再建を外部から統制する道につながる。人道支援と復興活動は、国連の監督の下で、権限を持ったパレスチナ機関を通じて行われるべきものである。

11月16日 9:20 pm

*パレスチナ・クロニクル：ハアレッツ紙によると、ハーバード大学は、まるで将来原本がなくなることに備えるように、イスラエルの文化的記録を長年にわたり保護に努めてきた。

11月16日 9:16 pm

*アル・ジャジーラ：イスラエル軍は「イエローライン」を超えたパレスチナ人を、「差し迫った脅威」になると主張して、殺害した。

*ハマス報道官：国連安保理に米国が提出した修正決議案は、ガザの安定化に貢献しない。我々としては、我々の自決権を擁護し、これ以上のイスラエルの侵略を止める決議案を求める。ガザ、西岸地区、エルサレムにおけるイスラエルのエスカレーションを止める決議案を求める。米国はイスラエルへの拘束力のない言葉で安保理加盟国を納得させようとしている。本当に停戦を実現するようなガザ国際平和部隊を設置する代替案を求める。

*チャンネル13：イスラエル治安当局は、数日間続くレバノンへの軍事行動をすることを勧告した。

*カン：ネタニヤフ首相は今日の閣議後、明日国連安保理で採決予定の米国の修正決議案について協議するために、非公開会議を開いた